



2015.2.26-3.5

第8回台南市青少年訪問団

報告書

主催：公益財団法人 仙台国際交流協会



目次

はじめに	1
実施概要	2
団員名簿	3
行程表	4
プログラム内容	5
活動班紹介	11
団員レポート	29
各チーム報告&メッセージリレー	49
同行者より	54



はじめに

本報告書は、2012年からスタートした台南市青少年訪問団の第8回目の派遣を記録したものです。2015年2月末～3月初め、仙台の大学生・専門学校生31名、同行職員2名の計33名が台湾南部の台南市に派遣されました。

東日本大震災直後からたくさんの支援を届けてくれた台南市を、学生たちが1週間かけて訪問。各所を回りながら感謝の念を伝えるとともに、仙台市の復興への取り組みも報告しました。また、現地の人々との交流を通して、お互いの文化や考え方への理解も深めました。

「台南の人々へ仙台市民の感謝を伝える」ことは、訪問団の大きな目的のひとつです。学生たちは派遣前から様々な準備をして渡航し、台南の人々をもてなす日本文化イベントを開催しました。当日は、コマやけん玉、お手玉など昔ながらの日本の遊びや、習字や浴衣の着付け体験など、伝統的な日本文化を伝えるとともに、震災からの復興が進む仙台の様子を報告しました。学生たちは、今も日本に関心を持ち続けてくれる台南の人々に、改めて感謝の念を強く持ちました。

台南での経験は、学生たちに多くの学びももたらしました。安平古堡、烏山頭ダムなど歴史的な建造物の視察、山間部に暮らす原住民族の村の訪問など、日本統治時代を含む台湾の歴史に直に触れました。特に原住民族の村では、現地の小学生との交流や、夜に行われる村の人々の伝統的な集会への参加など、独自の文化も大切にしながら生きる台湾の人々の様子を知ることが出来ました。

また、本プログラムは8名の現地学生たちのサポートがあって成り立ちました。日本語が堪能なサポーターたちは、常に仙台の学生たちに寄り添い、台南訪問が実りあるものになるよう努力してくれました。この報告書は、彼らへの感謝の気持ちで溢れています。学生たちの間に生まれた友情は、帰国後も大きく育まれています。

最後に、本報告書を通して、事業実施にあたり尽力いただいた奇美グループや財団法人樹谷文化基金会の皆様、学生サポーターの皆様、ホストファミリーの皆様、その他多くの関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成27年11月

公益財団法人仙台観光国際協会（事業実施時は仙台国際交流協会）

台南市青少年訪問団について

仙台市と友好交流促進協定を結ぶ台湾の台南市では、東日本大震災の直後から、「送愛到仙台（仙台に愛を送ろう）」の名のもとに活発な募金活動が行われ、また、台南市に本拠地を置く奇美グループがスポンサーとなり、「復興を担う人づくりこそ経済的支援にも勝る最も確かな支援である」という考えのもと、3年間で約300人の仙台の青少年を台南に招待するプロジェクトが生まれました。

これを受け、仙台国際交流協会では平成24年2月の第1回訪問団派遣を皮切りに、8回の派遣で計239名の学生が台南市を訪問しました。現地滞在中は、奇美グループ職員の方々や、日本語を学ぶ台湾人大学生のサポートを受けて、様々な交流事業に参加しています。

実 施 概 要

仙台市と交流促進協定を結ぶ台南市に青少年を派遣し、現地の青少年との交流や台南市内の見学、日本文化の紹介などを通して、異文化理解を深める機会とする。また、震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況を伝える機会とする。

1. 訪 問 先 台湾 台南市および近郊
2. 実施時期 2015年2月26日（木）～3月5日（木）7泊8日
3. 主 催 公益財団法人 仙台国際交流協会
4. 協 力 仙台市、台南市
5. 後 援 仙・台友好交流促進協会
6. 参加人数 青少年 31 名 同行者 2 名
7. 募集対象 仙台市内にお住まいか通学している 18 歳～22 歳の方（大学・専門学生等、年齢は平成 26 年 4 月 2 日現在）で下記の条件を全て満たす方

- 1 学生であること
- 2 心身ともに健康であること
- 3 日本国籍を有すること
- 4 国際交流、異文化理解に関心があり、ツアーの趣旨を理解・賛同し、団体行動に参加可能であること
- 5 定められた日程・旅行条件で参加できること
- 6 東日本大震災での経験を踏まえ、台湾の方々に仙台の元気や、感謝の想いを伝えることができること
- 7 事前・事後研修（全4回程度）に参加できること
- 8 これまでに仙台国際交流協会が主催した海外派遣事業に参加していないこと
- 9 未成年者の場合は、保護者の承諾が得られること

8. 事前研修

- 第1回目 2014年11月9日（日）：訪問団の概要説明、仙台市と台南市の関係について
第2回目 2014年12月14日（日）：「台湾の歴史と文化」の講義、台湾・台南市について、中国語・台湾語のワンポイントレッスン
第3回目 2015年2月15日（日）：過去の団員の体験談、仙台PRイベント・交流会等の準備、旅程最終確認

9. 事後研修

2015年3月21日（土）：訪問の振り返り、報告書作成について



第8回台南市青少年訪問団 団員名簿

	名前	ふりがな	性別	所属	学年
1	秋山 恭一	あきやま きょういち	男	東北大学	3
2	池田 隼人	いけだ はやと	男	東北大学	2
3	石井 遥香	いしい はるか	女	東北福祉大学	1
4	石川 理那	いしかわ りな	女	東北福祉大学	1
5	伊藤 明日香	いとう あすか	女	東北福祉大学	1
6	内海 百花	うつみ ももか	女	宮城大学	2
7	大井 あやめ	おおい あやめ	女	東北学院大学	3
8	大友 麻衣	おおとも まい	女	宮城学院女子大学	2
9	木村 美早姫	きむら みさき	女	仙台白百合女子大学	3
10	小林 祐佳	こばやし ゆか	女	宮城教育大学	2
11	佐々木 哲史	ささき さとし	男	東北大学	1
12	佐々木 結恵	ささき ゆめ	女	宮城学院女子大学	3
13	佐藤 愛	さとう あい	女	東北学院大学	4
14	白朶 美子	しらかば みこ	女	宮城教育大学	2
15	鈴木 絵理奈	すずき えりな	女	東北福祉大学	2
16	鈴木 美緒	すずき みお	女	東北生活文化大学	1
17	鈴木 里緒	すずき りお	女	山形大学	2
18	高橋 千明	たかはし ちあき	女	宮城学院女子大学	2
19	徳永 航平	とくなが こうへい	男	東北大学	3
20	土佐 克也	とさ かつや	男	宮城教育大学	3
21	内藤 詩音	ないとう しおん	男	東京法律専門学校仙台校	1
22	中村 玲奈	なかむら れいな	女	東北福祉大学	4
23	舟山 優也	ふなやま ゆうや	男	東北工業大学	1
24	古舘 愛美	ふるだて まなみ	女	東北学院大学	2
25	堀江 猛（団長）	ほりえ たけし	男	東北学院大学	3
26	丸山 佳晃	まるやま よしあき	男	東北大学	4
27	三浦 靖世	みうら やすよ	女	東北学院大学	1
28	都澤 和可	みやこざわ わか	女	東北学院大学	3
29	横澤 優美	よこざわ ゆみ	女	宮城教育大学	2
30	吉田 夏海	よしだ なつみ	女	東北学院大学	2
31	吉野 佳歩（副団長）	よしの かほ	女	宮城教育大学	3

男：9人、女：22人、11校

1	堀野 正浩	ほりの まさひろ	男	(公財) 仙台国際交流協会
2	熊田 夏希	くまだ なつき	女	(公財) 仙台国際交流協会

行程表

日次	日にち	都市	移動手段	時間	行程	食事	宿泊先						
1	2/26(木)	仙台	仙台駅	7:50	仙台駅2階 新幹線南口改札 集合	各自	樹谷会館						
		仙台-東京	新幹線 はやて122号	8:33発-10:16着	仙台駅⇒東京駅	機内 ×							
		東京-成田	成田エクスプレス21号	11:03-11:57	東京駅⇒成田空港第1ターミナル								
		成田-台北	飛行機 BR197	14:00発 - 17:05着	仙台空港⇒台北桃園空港								
		台北-樹谷園	専用バス	23:00頃着	桃園空港⇒樹谷会館								
2	2/27(金)	台南市	専用バス	8:00-8:30	朝食(樹谷会館)	○	樹谷会館						
				8:30-10:00	学生同士の交流&樹谷の案内	×							
				10:00-10:30	移動								
				10:30-12:00	古跡-安平古堡								
				12:00-13:30	昼食 安平老街(台湾式屋台)			○					
				13:30-14:00	移動								
				14:00-16:20	台湾茶道体験								
				16:20-16:30	移動								
				16:30-17:30	3グループに分かれて行動								
				17:30-17:50	移動								
				17:50-18:40	夕食(ショーロンポー)	○							
				18:40-19:40	移動								
				19:40-22:00	台日交流パーティー								
3	2/28(土)	台南市/高雄市	各自	7:30-8:00	朝食(樹谷会館)	○	ホームステイ						
				8:00-9:00	ホームステイ先へ移動	×							
				9:00	ホームステイ先 自由行動	×							
4	3/1(日)	台南市/高雄市	各自	9:00 10:00-11:00 11:00-11:30 11:30-12:00 12:00-14:30 14:30-17:00 17:00-18:00 18:00-19:00 19:00-21:30 21:30-22:30	朝食(ホームステイ先) 台南駅集合 移動 PRブース準備 昼食(樹谷会館) PRブース準備 日本文化PRブース PRブース片づけ 移動 花園夜市 移動	×	樹谷会館						
		台南市	専用バス		○								
					×								
					○								
					×								
					○								
					×								
					○								
5	3/2(月)	台南市	専用バス	8:00-8:30 8:30-9:00 9:00-11:30 11:30-11:45 11:45-13:00	朝食(樹谷会館) 移動 烏山頭ダム 移動 昼食(粽)	○	先住民の村						
		屏東県		13:00-14:30 14:30-17:00 17:00-19:00 19:00-21:00	移動 先住民の小学校でボランティア活動 夕食(先住民オリジナル料理) 先住民との交流パーティ	○							
				台南市	8:30-9:00 9:00-9:30 9:30-11:30 11:30-12:30	朝食 移動 先住民生活体験 移動		○					
					屏東県	12:30-13:30 14:30-17:30 17:30-18:30 18:30-19:30		昼食(客家料理) 奇美博物館の見学 移動+休憩 夕食(樹谷会館)	○				
						19:30		活動の感想・感謝カードを作る	○				
						7		3/4(水)	台南市	専用バス	7:30-8:00 8:00-8:30 8:30-9:30 9:30-10:30 10:30-11:40 11:40-12:40	朝食 移動 大洲地区の見学 移動 海 移動、シャワー・着替え	○
		台北市									台湾新幹線 専用バス	12:40-14:30 14:30-18:30 18:30-19:30	昼食(樹谷会館)、交流会準備 お別れ交流会 出発準備、夕食(樹谷会館) 移動 台南駅→桃園駅 ホテルへ
				台南市	専用バス							○	
												○	
												○	
○													
○													
8	3/5(木)		台北市 台北→仙台				専用バス 飛行機 BR118					6:00-7:00 10:15-14:15	ホテルから空港へ移動 桃園空港⇒仙台空港
		仙台	各自	15:00頃	解散								

台南市青少年訪問団 報告書



プログラム内容

2日目 台南の歴史を学ぶ

安平古堡と茶道体験

訪問団が初めに訪れたのは、1624 年オランダ統治時代に建築された、台湾で最も古い城堡「安平古堡^{あんぴんこほう}」。そして、1934 年日本統治時代の建てられた「柳屋料理」の建物も訪れ、現代の台湾茶道を体験。台南のさまざまな歴史を体感した 1 日でした。





3日目・4日目 台南の人々との交流

ホームステイと日本文化PRブース

旅の中盤は現地の人々と交流を深めました。3日目は、団員たちは台南の人々に招かれホームステイを体験。街を案内してもらったり、一緒に食事をしたりと、現地の生活をより深く学びました。4日目は、宿舍の樹谷会館の敷地内で日本文化PRブースを開催。家族連れなどが多く訪れ、団員たちが念入り準備したプログラムを楽しんでくれました。



5日目 日本とのつながり・子どもたちとの交流

烏山頭ダムと先住民の小学校訪問

旅の5日目に訪れたのは、日本統治時代に土木技師 八田與一氏により設計、建設された烏山頭ダム^{うさんとう}。1930年に完成し当時は世界最大のダムでした。現在も八田氏の功績は広く認められています。その後向かったのは、先住民の文化が色濃く残る山間の町。台湾では先住民たちの伝統文化が大切にされています。団員たちは小学校を訪れ、現地の子どもたちと交流を深めました。





台南サポーターとの交流

今も続く友情の始まり

現地の学生たち「台南サポーター」は、団員たちの旅が有意義になるよう常にサポートしてくれました。ともに食べ、笑い、お互いの文化を知った 7 日間。仙台と台南の学生の間には大きな友情が生まれました。彼らの交流は、帰国後も続いています。



台南市青少年訪問團 報告書

活動班紹介



自由気ままな6人組

1班



【メンバー紹介】



○詩音さん(内藤 詩音)

我がリーダー詩音さんは見た目と中身のギャップがすごい！見た目とは裏腹でとっても気さくで面白い！ダンスと声は一級品！グレーゾーンの疑念もあるとか、笑そんな冗談も言えるきさくな班長です(BY ふなっしー)



○ふなっしー(用山優也)

1班のイケメン担当！気立てのいいナイスガイ！シュッとして縦に長い！よく失笑する(笑)服装が挑発的！！(BY 詩音)



○まいまい(大友 麻衣)

笑顔の素敵なお姉さん！でも、常にバックの中探してるし、夜市での食いっぷりは驚かされるし、いろんな顔をお持ちです！いつも君の笑顔に癒されてました*ありがとう！(BY わかちこ)



○みこみこ(白根 美子)

いつも元気で、いるだけで周りが明るくなる！そして、しっかりしてるけど、末っ子っぽい時もある(笑)あと、大富豪が強い！！(笑)(BY まいまい)



○わかちこ(都澤 和可)

しっかり者の1班のお姉ちゃん！わかさんの笑顔は地球を救います！おっちょこちょいなところもあるけど、そんなところにみんなとりこになるんだよねあ(〃)とっても親しみやすく大好きです！(BY みこみこ)

そんな1班を支えてくれたのが……

1



2



3



翔太!!!!



- ・日本大好きで、日本語が上手い！上手すぎる！
- 英語もべらべら！トリリンガル！
- ・どこでも色んな知識が出てくる知識豊富な物知りさん
- ・いつもみんなのことを第一に考えてくれるジェントルマン
- だから、頑張りすぎちゃって、基本お疲れモード(ありがとうね)
- ・カメラが大好き！
- 変わったポーズや自然体の写真が好き
- ・ダンスが上手い！
- ダンスになるとスイッチが入ってとっても素敵な大人翔太に=

1 班の思い出



サポーター当てゲームで翔太を当てられなかった交流会
詩音さんにそっくりなうちわの熊、たびたび失笑するふなっしー
屋台で食べた鴨の血スープに、鶏の足、そして、コオロギ
涙なみだのお別れ交流会、翔太のダンスのキレの良さ...etc



翔太's Message



～ヘラヘラしてる！？～

2班

なっちゃん（吉田夏海）

- ・ゆるふわ GIRL
- ・許せるおバカさん
- ・目標はゆめさん

ゆめ（佐々木結恵）

- ・ SEXY なチア GIRL
- ・ 悩殺ウィンク
- ・ 2 班のお姉さん担当

エリック（鈴木絵理奈）

- ・ 投擲（とうてき）！
- ・ 壁ドンの威力は未知数・・・
- ・ 少林寺 GIRL

かっちゃん（土佐克也）

- ・ 何でも拾ってくれるお荷物
- ・ 彼女大好き
- ・ 将来は小学校の先生

さしちゃん（佐々木哲史）

- ・ ニヤニヤしている
- ・ ムードメーカー
- ・ 財布落とす子※前科7回

2班の思い出

夜市は思い出沢山

- ・ コオロギ事件！
- ・ 鴨の血スープで
なっちゃん号泣
- ・ 意外とイケる臭豆腐
- ・ かっちゃんゴミ収集車になる

みんなでフルーツ
盛り沢山のかき氷
おいしかったー！

現地の女子高生と交流
仲良くなって宇多田ヒカルの「First
Love」を歌ってもらった♪



イブイブ・イブン♡

毒舌だけど実はツンデレ
 しっかり者でちょっとシャイ
 日本語は日本人レベルでペラペラ
 カッパ大好き 2班のうちわはもちろんカッパ
 グアバも好き！でもバナナは嫌い
 バレー部でバレーも好きー
 Y・Sよりー急にくるデレがもう最高！イブン大好き♡
 S・Sよりーイブンの全部が好き♡
 K・Tよりーイブンのいじわるな所が好き♡
 N・Yよりー困り顔がかわいい♡
 E・Sよりーかわいいから投げる♡



イブンからもらったプレゼントは素敵な切符でした。
 「永康」駅～「保安」駅までの切符です。
 この切符を反時計周りに読むと「永保安康」となり、「永遠に安らかに健やかであり続ける」という意味がこめられているそうです。日付は私達が台湾に来た日でした！



2 班 サポーター
 イブンからの
 メッセージ!!♡♡

I like warm hugs.

よくいたずら、いまいって言われてるけど、
 皆のことが大好きだから
 そうしたのよ!♡

イブン
 2015.03.03
 Tainan

©DISNEY

●小籠包 → シュンシュン〜と底から肉汁☆
お花かんためん〜♡♡

- Yummy - 😊 -



原住民の村で伝統的な祭祀を体験!
お土産、ヤシの屑手拭見事、良運と得たのは…!?

- 報告書が完成したころには



西村 → 小學校の先生
とく → ITエンジニア



10年後の自分に
一言○○○○!!!
お計→豊田弘光と書く
通して3年ほど
受けた2回ほど
おめでとう!!!
おめでとう!!!

ばあば → 藤城の心を癒すべく
 10月 → 秋の心、10月10日は
 親戚の集まる日、夏は終わる
 秋の始まり、秋の心
 秋の心 → 世界遺産！
 秋の心 → 秋の心！
 秋の心 → 秋の心！

你→10年後，目標是比現在
活得更長，比父母活得更長
更幸福，更健康，更成功

距離我
77-12 ♡

- 1日目の交流会2日、物探しがズ&心臓病田
みんな... 1位 ♫ カップ麺 get ~!!

- お別れ交流会の日、泣き顔で帰る人々が
 中村 → 無罪!
 あやめ → 尻文字 10
 とく → kiss 集め♡
 (Jason さん 感謝!!)
- ヒリ...
 罰金...

No 1... 夜市

ほかを先頭に夜市を散策♪ コロギ、鳥
 かも血スーフと食べた。
 台湾人の舌に近づけたかな😊?!
 時々や輪使がも楽だった!!

No 2... 寧平古堡

それとまた、この城の歴史を学ば、
お城のあちや甘〜いソフトクリームを
食べた。

No 3... 小籠包♡



到王



3月5日 津市に行くの時期が、
 いろいろなこと多いから。
 今回の訪問で、我々日本人の
 生活の改善、更に津市の発展
 のために、この訪問合意の
 実現を願う。

何の道にしようかと迷っている
 心をどのようにつなぐのか
 輪をどのようにつなぐのか
 だと思ふ。

昔、海を渡り、
 船に乗り、
 一ツツと、
 心をつなぐ。

心をつなぐ。

Heart + Heart

家夏



（我が3班サポーター）

ピカ♡

我爱你~!!



お別れ
交流会では
本気でダンス
を披露して
くれました!!

私たちがピカとはじめて会ったのは
学生交流会。新垣結衣似のサポーター
ということで大興奮(笑)



←紙袋で顔を隠していたピカは
誰よりもsexyに踊っててね
テンションが高くてノリノリの
ピカに圧倒される私たち(笑)日本語が
とても上手で復市や安平古堡などで3班を
サポートしてくれました。まさにお姉さんの
存在!!いつも私たちのことを一番考えて
くれていたピカには感謝感謝です。
将来、日本に来てくれることを3班
メンバー訪問団みんなが待ちます!!
ピカ、本当にありがとう! 謝謝!



山崎の皆さんへ
楽しい時間はいつも短いね!
皆のおかげで涙山の感謝をも
うえました!
大家謝謝!!
♡♡♡♡♡

ピカからのメッセージ

みんなへ

〈唯一の男子僕さん〉
毎日のように着ていたアロハシャツ。
私たちを笑わせてくれましたね。
ジャンプでは毎回超大げさな姿勢
で相手を脅かしてたね。3班には
あなたがいるおかげで笑い声が絶え
ませんでした。ありがとう! 大学院でも
頑張ってるね!

〈中国語が上手な
あやめちゃん〉
お別れカードを全部中国語で
書いてくれてすごく感動した!
ありがとう。あやめちゃんは私が
今まで関わった日本人の中で2番目
に発音が良い!! (一番目は私の学
科の日本人の先生です笑) 今年の夏
台湾にぜひ来てね!

〈コオロギを食べるのが
面白かったあはは〉
携帯にはあははコオロギを
食べる写真がいっぱいあって
見返すと本当におもしろい!
あははがいたピカが仙台
に来て私の家に白猫に
来てね!! はまだ覚えてる
よ! あははが台北に来る
ときは私の家に泊まって
ね!!

〈あなたがい笑顔の
ゆめちゃん〉
個性的で優しくてみん
なによってくれたね。
一週間本当にありがとう。
博物館で私とおしゃべり
をしていたときに
見せてくれた僕らの写
真を忘れません。私の山
台に行ったら僕らも一緒
に笑い合おう。
(そのときには私にも
僕らがいるといいね笑)

〈仙台を教えた
りおちゃん〉
一週間いっぱいお話
したね。今仙台は復興
しているというお話をき
いて私は仙台に行き
たいと思いました。みん
なにも会いたいし、仙台
の人たちを励まし、支援
したいとも思っています。
機会があれば
絶対に会いに来てね!

最後に... → みんなが頑張って夢に向かっていくのを願っています。この一週間の台湾での素敵な思い出を忘れないでね。
また会いましょう! ピカ、ありがとうございました!!

3班メンバー!!

伊藤永航平
3班のリーダー☆
最高におもしろい(笑)!!

鈴木りお
みんなのお姉さん♪
ツッコミ担当!!

大井あやめ
中国語がすごい!!
お笑い大好き♡



石井遥香
3班のいやし系
ゲテモノ大好き!? 笑

ピカ 横澤優美
3班の元気担当☆
常に笑顔です!!

そして 陳易襄こと
ピカの6人!!

4 班王 かがか チーム

メンバー紹介



堀江 猛 (もんちゃん)
つりが大好きで
2言目にはつりの話をしていた
マイペースで温厚な団長!!
自称はんぺん。



葉 芳華 (かか)
みんなのアイドル♡
天真爛漫な
美脚ガール!!!

内海 百花 (ももへ)
自撮り女王!!!
小さいのに存在感
バツグン!!もんちゃんの
指導係。
自称上戸彩。



吉野 佳歩 (よし)
みんなが疲れている時でも
端を明るくしてくれる
自称教師の
大食いフードファイター!!!

石川 理那 (りなでい)
1年生とは思えないほど
大人っぽくてしっかりしている
30人斬りの女!!!
自称武井咲。



《 思ひ出... 》

かき氷早食い事件!?

2日目の夕方沈む頃、事件は起きた!
果物屋にて1人1つのかき氷を食べるという
ミッションに挑んだ。
何もかも知らない私たちはかき氷の大きさに驚愕。
山のような氷にもだえ苦しむりなでいとももへ。
はなめ前に座るよしともんちゃんに
「この量全部食べられますか?」とりなでいが聞いた。
すると「もう食べたよ!」と笑顔で答えるよし。
ものの10分でこの量を...
りなでいとももへは言葉を失ったのであった...



堀野さんの靴事件!?

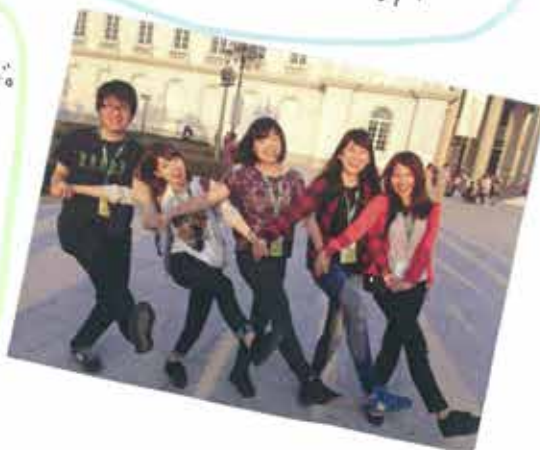
2日目の夜、
事件は起きた!
台日交流パーティーにて
堀野さんの靴を奪うというミッションが課せられた。
まずは堀野さんに抱きつくももへ。
それに加わるもんちゃん。
最終的にはももへとさとしの一騎打ち。
元ハンド部のさとしは148cmのももへが
見事勝利した命
P.S 「俺のくつ壊れなうー!!!」
By 堀野さん

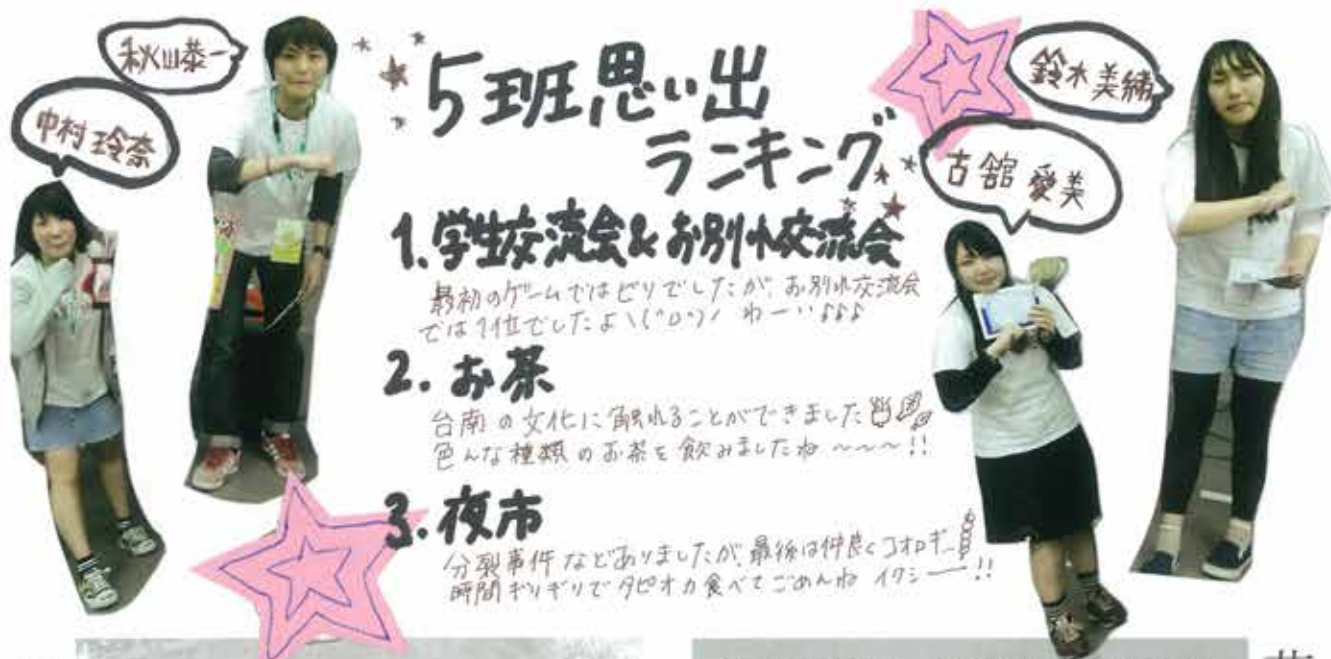


4班王号泣事件

in お別れ交流会

7日目の夜、事件は起きた!
お別れ交流会にて、自分の想いを伝えるというミッションに挑んだ。
4班の出演になり、前に出る人。ももへ既に号泣。
つらねるよし。話している時に泣き出さずにはい。
見守るもんちゃん...。
最後にかか泣き出した時には、
皆、顔面総崩れしていた。
4班メンバー、ほかの列王に比べて涙腺が弱い
ということが発覚したのであった。完





安平古堡

安平では古都の雰囲気をつつりと味わいました。班のみんなとも仲良くなれて良かったです。小籠包は箸が止まらなくなるほどの美味しさで、幸せなひと時でした！！

3月1日の夜、多くの人で賑わう花園夜市に行ってきました！日本にはない雰囲気を肌で感じました。人ごみのまれて班が分裂してしまうハプニングがありましたが、なんとか合流し、無事にコウロギを食べることができました！（仲良く一匹ずつ）パパイヤミルクは最高に美味しかったです☆

花園夜市

5班

奇美博物館

3月3日奇美博物館に行きました。奇美博物館は動物の剥製、化石、兵器、西洋美術など様々なジャンルの作品が収蔵されています。鑑賞とショッピングを楽しんだ後はみんなで美味しいアイスを食べで大満足でした♪

二日目の台日交流パーティではビリでパチパチのお菓子？を食べる罰ゲームをしてしまったのですが、台南市最終日のお別れ交流会では何と一位でした！この一週間の間で5班の絆の深まりが結果に表れました笑

交流会





5 班サポーター 郭育志

<育志の性格>

- ・日本語の話し方が可愛い
- ・集合時間をきっちり守る（いつも 15 分前に集合でした笑）
- ・女の子らしい一面がある（肌のお手入れはかかさない）
- ・覚えてたの日本語をすぐに携帯にメモする頑張り屋
- ・変態（「ウォッチッチ」ですぐ笑う www）

育志はとっても面白く、いつもみんなを笑わせてくれました！
あと、変な日本語を覚えようとする意欲が誰よりも強い育志。
今年の春から一年間沖縄県の名桜大学に留学します。頑張っ
てね！！



5 班メンバーからのメッセージ

- ・育志、沖縄でたくさん友達作って頑張ってきて！変な日本語ばかり使っちゃダメだよ by あきやま
- ・いくしー私たちのために沢山のことをしてくれてありがとう！仙台に来たら、私たちが案内するね！by まなみ
- ・女子力を分け分けてください！ いつもお肌がつつるで羨ましい〜〜〜(*´▽｀)ノ by みお
- ・一生懸命台南を案内してくれてありがとう！！
- 育志のお陰で笑ってばかりで、とっても充実した1週間だったよ！沖縄に遊びにいくね！



育志からのメッセージ！

I like warm hugs.

24th -

二の六日間寺の修業は、た！

おれは、さういふ、いつか家へ来

[illegible]

世にまじりてのうらみは、一



Ik heb
van je

0000

2015.8

僕から
みんなへ
メッセージ
だよー...

楽しかったね



全員マイペース(笑) 6班♡

みんなのお兄さん(?)

♡まるちゃん

超自由人。アイスが大好きでいつでもアイスを食べたがる。でも実はとてもまじめでせうのくだらない一言にもまじめに返してくれる。安んにおじちゃんとおばれわりとガチで落ち込んでいる。春から北海道で元氣張ってる!!



宇宙人... (?)

♡ごもちゃん

6班のリーダー。その見た目からは想像つかない食欲で早食いをする毎日... 海外が大好きで、世界進出を夢見ているが、安んからは宇宙人とか言われる。早くも宇宙にまで進出してしまふ。



ウエニに似てる...

♡こゆか

教員市のたまご。子ども好き。とてもおどおどしている。飲み会で顔長族に扮している。飲み会できれいなおでこコリーがかけると飲めよ。一度ツバにハマると笑いがとまらない。



みんなのアイドル。

♡やすー

野球が大好き。しゃべり系と思いきや意外とDS。その美貌を武器にはくみの推しメンNO.2の座を手にするが台南でスマホをなくししばらく音信不通になる。




思い出 Best 3

第3位 まるちゃん おじちゃん事件

6班サポーターの安んはとっても優しい♡のだからちゃんにはなぜか辛口... 班長のメンバーの第一印象をきくと「丸ちゃんは何んかおじさんっぽい!」とバツリ。最年長丸ちゃんはとてもまじめなのでこの発言をまにうけ、ガチで落ち込んだそうです... (い)



第2位 やすースマホ紛失事件

やすーはしっかり者です。ほんと。でも台北へ移動するバスにスマホを忘れその日日本に帰国。しばらく誰とも連絡が取れず音信不通に... 笑

第1位 口内炎 夕焼事件

私たちが6班で一番苦しんだのがこれ。やすーちゃんとかの口内炎が悪化し大変なことに...!! (やすーは6つぐらいあった) 夜市にいても「痛い... (ぐ)」といけなげの食事。何も食べても、おいしいけど痛くて特にフルーツの盛り合わせがツラかった??



6班のサポーターは、^{あん あん}安安でーす☆

天然で、外見はおっとりしてるように見えるけど、
意外に毒舌な所もあるよ。サポーターと私達が初めて
会う交流会では、「唇を整形したけど失敗した。」
「早食いが得意」というエピソードがある人として紹介された(笑)
初めて会った時は、すごく緊張していた様子だったけど、

台湾茶道体験では、私達みんなに通訳をしてくれて、台湾の文化を教えて
くれた。移動中に、6班 みんなの第一印象を聞いた時に、「まろちゃんはおじちゃんだね〜」って
言っていたのが爆笑だった。「推しメン」の意味についてみんなに教えたり、とにかく
笑いが絶えない毎日だった!! そんな安安は、宮崎大学に1年間 留学しまーす!!

49 6班が食べたもの 49

- ① コオロギ 校市にあったコオロギのあげ物で見た目はアレだけど、
カリカリしていて美味しかった!!!!!!(笑)
- ② でかいイチゴ 本物に大きなイチゴ!!! まろちゃんがみんなの分を買ってくれた!
- ③ パイナップルミルクジュース
すごく甘くて、すっごくした味のパイナップルミルクジュース♥
メンバーのこやかと同じ名字「小林」フルーツジュースのお店でいただきました。



初めての
校市!!
イチゴが
おいしーい!!
パクリッ



I like warm hugs.
皆さんと一緒に台湾の文化と食べものを
体験できると良かったです! また会える
なら嬉しいです。Oh! Ya!
安安😊
© DISNEY



750 なしー



伊藤 明香

胸はないけど、帯はあふ〜! おなじみ、私はおあ
です! これから7班の思い出ベストを発表
するなしー!! 1週間の中で、特に心に残った
思い出を発表するなしー!!



花園夜市

私はあいなし〜♪
これから2位を発表するよ!!
4日に行った花園夜市! みんなで臭豆腐を
食べたり(私がおどるハメに笑)いけちゃん
がヘルメットを買ったり(かなり値切っていた笑)おいし
くて、楽しい時間だったなし〜♡



佐藤 愛



池田 隼人

次は2位の発表を池ちゃんがするなしー!
初日の 学生交流会と最終日の
お別れ交流会がワンクイン!! みんな号泣した
なしー!! 特に自分(笑) 梨汁ブシャー



私はサー!! 3位の安平古堡を紹介
するなしー。みんなでお祈りをしたり、
見学をした後は、屋台で昼食を食べたよ。
棺材板、安平蝦捲、蚵仔煎、炸銀絲卷など
たくさん食べたなしー!! オススメは蚵仔煎☆☆



木村 美早妃



who am I??





みんなのアイドル♡ サポーターのサポーター!!! 柏森~☆☆

私たちは、桃園空港で初めて柏森と会いました♡
柏森はとても爽やかで顔が整っていて...♡そして、なんといっても
日本語が上手...!!! 8日間、通訳とばかり、研修も盛り上げて
くれました♡ 柏森は、面倒見が良くて、本当に優しい男性でした!!!
みんなそんな柏森が大好きです♡ カニさんとのあぶらおエピソードも
たくさんさんぽり♡ 8日間お世話になった、一生忘れない思い出でござい
ました♡ 今度は、私たちが柏森のいるお・も・て・なし したいです♡
今回の訪問団が、こんなにも充実したのは、柏森の
おかげです!!! 谢谢 谢谢!!!

柏森の♡ メッセージ

くっ〜ん!!!
のっしい!!!
おつれいお南と
日本の絆が強く
あふりに♡



団長&副団長の♡ 柏森にメッセージ

明るく、とても心強い存
在でした。特に非常に日本語が上手で、
沢山の交流の中で感謝の気持ちと
仙のりえの気さくさくしつハ
逆に多くの事を学ばせられ
励まされている事に気付き
ました。本当に感謝してい
ます。谢谢。hotie

一週間お世話のことと引の長くて
くれたはくりん。本当にありがとう♡
いつも笑顔で私たちが楽しませてくれ、
はくりんはみんなのアイドルだったよ!!
また会える日を楽しみにしているわ!!
(はくりんとお南さんに♡笑)

→佳歩



サポーターのサポーター おつれいおま
でした!!!





みんなグレイス〜♡

厚切りジェイソン 副団長

我是 Jason Chen! ジェイソン

メッセージ

ジェイソンは、かんちゃん(太)のような Very Cute な風貌を武器に、多くの女性を虜にしました。学生交流会では、くつろぎの合いになり、楽しかったです。そして、中身もとてもステキなのです。困った時にはすぐに助けてくれる、優しい max な紳士です。こんなに素敵な方に結婚はしてないそうです。なんと! これは狙い目ですわね♡♡♡

ジェイソン、一週間本当にありがとうございました!! ジェイソンが撮る写真はどれもステキです!! いつもここにいてくれてくれて感謝!! 一緒に笑った思い出が懐かしいです。これからもよろしくお願いします!!

ジェイソン!

Dear all:

I am so happy to meet u guys.

I believe the six days is a memorable event in my life.

Wish you everything be fine.

by Jason

ジェイソンからみんなへメッセージ

グレイスさんからみんなへメッセージ

Hope all of you have a wonderful memory in Taiwan!

Grace 第几様

団長からグレイスへメッセージ

グレイスさんへ

グレイスさんとはじめて、心温かいお話しができたこと、そして、一生の思い出、決まっています。そして、これからも、一緒に笑って、一緒に頑張ります。これからも、よろしくお願いします。グレイスさん、本当にありがとうございました。

クールビューティーグレイスさん

グレイスさんは、美しい長い髪をなびかせ、なまがツキリとした目が光っていることで、台湾を... いや! 世界を代表する美しい女性です。ホームステイ先に前に、あてつや自己紹介を教えてくれたりしました。何でもできる最高の女性です♡ そんな、グレイスさんですが、時々、旦那さんとうろたえている姿を見かけた人も、おなじみではないでしょうか? そこも含めて本当にステキな方です。

グレイスさん

台南市青少年訪問団 報告書

団員レポート



秋山 恭一

(東北大学)

僕はこの研修で、東日本大震災から約 4 年たった今も、台南市の人たちが震災に対して関心を持っているのか知る、今発展成長を見せている台湾と日本の雰囲気の違いを自分の肌で感じ取るという 2 つの目標があった。実際に自分の中でこれらの目標を意識して 1 週間生活することで普段は経験できない事を沢山吸収することができた。サポーターの皆をはじめとする台南の人たちは震災の事をはっきり覚えてくれていたし、応援してくれる人もいた。台南の雰囲気は日本より元気で活気があり、上手く言葉にできないが、楽しく一生懸命生きる意欲が高いのかもしれないと個人的に感じた。あと、サポーターの日本語や知らないことを学ぼうとする意識の高さにも驚いた。

まだ台南にしか行ったことはないが、この 1 週間という短い期間で、台湾の人の優しさに触れ、自分の中で台湾がこれからも関わっていきたい非常に身近で大切な国になった。パンクしてしまうくらいインプットしたので、これからはこの経験を活かすようにアウトプットを心掛けようと思う。最後に、この研修に携わってくださった全ての方々に感謝します。本当にありがとうございました。



池田 隼人

(東北大学)

台湾で過ごした 8 日間の中で一番の思い出となったのは、なんといってもホームステイだ。台湾サポーターのしよーたのところに自分はホームステイをした。原付に二人乗り(台湾では原付の二人乗りは合法)して高尾市内の観光スポットを駆け巡った。深夜夜景の見えるところにいて、今学校で学んでいること、恋愛(主にしよーたの)、将来のことなどについてかなり話し込んだのを覚えている。

自分は第 8 期台南青少年訪問団の二次面接のときに大学で医療工学を専攻していると言ったのだが、偶然なのか SIRA の粋な計らいなのか、しよーたは医療系のビジネスについて学んでいて自分にとって大きな刺激となった。日本に帰ってきてから、この楽しかった思い出を思い出で終わらせるのではなく、今後とも自分が台湾の人たちと交流していくきっかけにしたいと改めて思った。





最後に私事ですが、日本に帰ってきてから4日後の3月9日(熊田さん改めラムジーさんの入籍の日でもある)に20歳の誕生日を迎えたのですが、台湾からメッセージカードを郵送してくれたり、メッセージ付き写真を送ってくれたりしてすごく幸せな誕生日になりました！！ほんとうにありがとう！！謝謝！！

石井 遥香

(東北福祉大学)

8日間という短い期間の中で、私は“人の温かさ”“感謝の気持ち”“出会いの大切さ”など本当に数えきれないほど多くのことを学びました。台湾に来る前は、「中国語が分からないし不安だなあ...」「一緒に行くメンバーの顔と名前が一致してないんだよね」と楽しみという気持ちより、不安の方が大きかったです。しかし、そんな心配などなかったかのように、8日間の訪問は内容が濃く、充実していました。そう思えたのは、私たちの活動をサポートしてくれた台湾のサポーター、フレンドリーであたたかく迎え入れてくれた台湾の方々、ホームステイでお世話になった方々のおかげです。私は本当に恵まれた環境の元で活動できました。



中でも1番の思い出は、仙台 PR ブースです。私は、着付けブースで台南の学生と一緒にチェキで撮影をしました。言葉は通じなくても、笑顔やジェスチャーで台南の方とコミュニケーションがとれたような気がしました。改めて、笑顔が持つ素晴らしい力と、人との繋がり大切さを実感しました。

一生の中でわずか8日間、しかし、一生忘れることのできない8日間になりました。すべての方、すべてのできごとに謝謝。

石川 理那

(東北福祉大学)

私は東日本大震災の時に支援して下さった台湾・台南市に感謝の気持ちを届けたいという思いを胸に、第8回台南市青少年訪問団に参加しました。ホームステイ先の方や台南サポーターと震災について話すと、既に東日本大震災について知っていて、「あの時は本当にみんな心配していたよ。」と言ってくださいました。今後も台南市は勿論、他の国や地域から、震災の時に受けた支援に対しての感謝の気持ちを絶対に忘れないでいようと思いました。それと同時に、自分たちが住んでいる地域以外



にも関心を持つことの大切さや、地域同士の絆や交流の必要性を学びました。私は第 8 回台南市青少年訪問団の活動を通して、自分たちのことだけではなく、世界に目を向け、視野を広げて物事を考えていきたいと思いました。

また、台南市の人は温かい方が多く、沢山の方々が素敵なおもてなしをしてくださいました。私は台湾・台南市の温かい人々や学んだことについて、自分の周りの人に伝えていきたいです。今回の活動で得た繋がりをこれからも続けていき、今後も台南市と仙台市の絆をより深いものにしていくような活動をしたいです。

伊藤 明日香

(東北福祉大学)

参加して⇒台湾が大好きになった・素晴らしい人達と出会えた・今の自分の原動力

交流会のメンバーは個性強かったが、自分と異なる考え方から学ぶことは多く本当に尊敬できる先輩に恵まれた。苦労もあったが、会議だけでなくレクリエーションも重視することで、結果的に個人の持ち味を活かした素晴らしい企画ができたと思う。チームプレイの難しさ、重要性を学ぶことが出来た。

目標は被災者として台南に感謝を伝えること、仙台の良さを知ってもらうこと、自分から挑戦することだった。ホームステイでははじめ緊張してしまったが、夕食を作る手伝いをしたいと話しかけてから打ち解けることができ、それからは仙台や台南のことを教えあって仲を深めることができた。また仙台 PR イベントでは浴衣の着付けサポートや合唱で感謝の気持ちを届けることが出来た。現地の方と深く関わっていく中で、言葉では伝えられないもどかしさと同時に、気持ちが伝わった瞬間の感動そして現地の人々のあたたかさに心を打たれた。全日程を通し感じたのは、台湾と日本の絆の深さだった。

自分には将来国際協力に携わりたいという夢がある。訪問団に参加して、それは震災支援の恩返しの為世界に貢献したかったからだと再確認できた。八田與一さんの偉業には特に感銘を受けた。平和のリレーは 95 年以上も続き、震災を乗り越えより強固となった絆となって私たちに受け継がれたのだと感じた。今後も震災支援の感謝を伝えること、震災復興、日台友好の為の活動を続けたい。学生生活では勉学に励みながら、国際交流・協力にも積極的に挑戦したい。台南のみんなからもらったパワーのおかげで、帰国後開催された第3回国連防災世界会議では多くのフォーラムに行けたし、仮設住宅での健康相談ボランティアにも積極的に参加している。

多くの感動をくれたすべての出会いに感謝したい。送愛倒台南✈





内海 百花

(宮城大学)

私にとって初海外となる第8期での台南研修は本当に充実していて、刺激的な一週間でした。台湾の歴史・文化に触れるだけでなく毎日素敵な出会いがありました。台湾の人々は大人から子供まで皆温かく、優しさで溢れていました。特に感謝したいのは台湾サポーターです。サポーターの人達は日本語がとても上手で、お店やPR活動、先住民の村など行く場所行く場所で、中国語のままならない私達を助けてくれました。その一生懸命な姿を見て、彼らのような台湾の人が日本に来たら、絶対に自分も仙台を案内して恩返しをしたいと感じました。

そして自分も中国語を勉強して彼らに再び会う時は少しでも話せるようになりたいと感じました。今回の研修で私達が築いた絆を留まらせることなく、私達の力で少しずつでも広げていきたいです。台南での一週間を通して、国際交流とは無縁だと思っていた自分の考えは大きく変わり、もっと世界を見てみたいと思うようになりました。学生のうちに視野を広げてくれた第8期台南市青少年訪問団に本当に感謝しています。関わって下さった全ての方々、ありがとうございました、謝謝！！



大井 あやめ

(東北学院大学)

「heart to heart」

私にとって今回の台南は初めての海外でしたので、期待の他に不安も多くあったのですが、行ってみるとほんとに楽しいばかりで一週間が本当にあっという間でした。皆さんと共に過ごした日々は毎日がとても充実していて、寝る間も惜しんで毎晩晩酌を交わしたのも良き思い出となっています(笑)

私は大学で日本語教育について学んでいて、留学生をはじめ多くの外国の方と接する機会があるのですが、そういった異文化交流は日本国内でしか行ったことが無く、外国人の方に日本語を教える上で、学習者の環境や気持ちを理解して指導することが求められるのに、理解が足りないと思ったことが今回の応募のきっかけでした。そして、震災の被害の時にかけて頂いた温かい声援等に感謝を伝えたいという目的もあり、私は中国語も勉強していたので、微力でも貢献したいと思い応募を決めました。



今訪問を終えて振り返ってみると、震災の感謝の気持ちをきちんと伝えられたのはホームステイ先のみでしたが、現地の人々とお話したり交流したりすることによって、元気な姿をお見せすることができたのではないかと考えています。実際に肌で感じ、学んだことは多くありましたが、一番は“言葉は違えども、心は皆ひとつである”ということでした。

私たちは同じタスクに向かって頑張ってきた仲間であり、刺激を受け与えることができた最高の仲間でした。この出会えた奇跡は私にとっての宝物で、“人と人とのつながり”の大切さを感じることができました。私は近々事業として中国へ一週間行きますので、今回の経験を踏まえて頑張りたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。

大友 麻衣

(宮城学院女子大学)

2月26日～3月5日まで台南市青少年訪問団として台南市を訪問しました。この活動は、東日本大震災の際にたくさんの支援をしてくださった台湾の方々に感謝の気持ちを伝えるということが目的のひとつでもあります。この一週間は、すごく刺激的な一週間でした。ホームステイや先住民の生活体験や、小学校の訪問はなかなかできない貴重な経験だと思います。また、文化や人柄の違いはもちろん、台湾サポーターの勉強に対する姿勢であったり、私生活から離れた生活は毎日が刺激的でたくさんしたこと学んで感じたと思います。

とはいえ、得たものを思い出のままにしていけないと思います。この経験をどう活かしていくかということがこれからとても大切になるはずです。そして、台湾での経験だけでなく、仙台の学生と出会えたことも宝物となりました。台南市青少年訪問団の活動は終了してしましますが、これからもずっと台南と仙台の関係を築いていきたいと思っています。



木村 美早姫

(仙台白百合女子大学)

二回目の挑戦で参加できることになった台南市青少年訪問団。研修の一切を終了した今、私が第8期として参加できたのは、メンバーやサポーター、関わってくれたすべての人に会うためだったのだと心から思う。そう思えるほどにこの一週間は充実し、密度の濃い日々だった。ホームステイやPRイベント、先住民生活体験など、現地の方々と触れ合う機会が多く、その中で「人のあたたかさ」





に触れることができた。日本語で話しかけてくれたり、震災時のことを話してくれる人々もいた。

私自身、「震災支援での感謝を伝える」という一番の目的を十分に達成できたと言うことは正直できない。伝えることの難しさを改めて感じたと同時に、台南の人々の優しさにさらに感謝することが増えたからだ。研修は終わってしまったが、私たちにとってこれはスタートであり、一人一人が今後さまざまな場面で活躍していこう。私は今回果たせなかったことを、これからの人生で少しずつ恩返ししていきたいと思う。大学3年の終わりに貴重な経験をすることができた。みんな素敵な思い出をありがとう。

小林 祐佳

(宮城教育大学)

台湾で学んだこと

台湾での一週間は、毎日が初めて見るものの体験することに溢れていて、自分にとってとても新鮮なものだった。異文化交流をすること自体初めてだった私は、台湾でどんな体験をし、どんな人と出会うのか楽しみな反面、不安な気持ちもあった。しかし台湾で一週間過ごして一番強く感じたのは、台湾の人の温かさであった。台南のサポーターのみんなはとてもフレンドリーで、いつも明るく一生懸命日本語で話しかけてくれた。また、PRブースに来てくれた方は東日本大震災の情報に熱心に耳を傾け、日本の文化体験を終えると謝謝、と声をかけてくれた。夜市や街を歩いていても、お店の人や街を歩く人に気軽に声をかけたり道を聞いたりする様子が見られ、そのたび謝謝という言葉がとび交っていた。それは日本では見られないものであった。



そんな人の温かさに触れ、人とのかかわりを今まで以上に大切にしようと思うようになった。この訪問団で出会った日本のメンバーや台湾サポーターとのかかわりを大切にしたい。また、教育大学に在学しているので台湾で経験したことを子どもたちに伝えていけるような教員になりたいと思う。こんな有意義な時間を過ごせたのもかかわってくれた日本人メンバー、台湾サポーター熊田さん堀野さんなどのおかげです、本当にありがとうございました！！

佐々木 哲史

(東北大学)

台湾の方々に東日本大震災の時に支援していただいたことに対し、感謝の気持ちを伝える。結果的にはできたかもしれないが、それ以上に得たものの方が大きかったと思う。普段の生活・海外渡航では味わえない経験ができた。新しい仲間と新しいことを体験し、共有しあった。この経験は私の人生の幅を大きく広げてくれた。今までは行く手が前しか見えなかったが、横も後ろも見えるようになり今後の人生が広がっていくと思う。今回の訪問は人生の視野を広げ、今後の私の人生にと

って大きな財産になるものとなった。

台湾で、1 番感じたことは台湾人の人間的なあたたかさであった。どんな人も私の話を一生懸命聞いてくれたり、たとえ言葉が通じなくても会話しようと努力してくれた。急に話しかけてもノリよく答えてくれたのは私にとってとても心地よかった。

今後は今回の経験を社会に還元する方法を模索しそれを実行していく努力をしたいし、他の国の方とも積極的に交流していきたいと思います。そして、今回出会えた仲間を一生大切に、自分の人生の選択肢を今後も広げていきたいと思っています。

関係者のみなさん！台湾のみなさん！本当にありがとうございました。



佐々木 結恵

(宮城学院女子大学)

台湾についた瞬間から聞こえてくる言葉の違いに初めは不安しか感じていませんでした。しかしサポーターをはじめとする周りの方々のおかげで最初に感じた不安が嘘のように毎日楽しく、笑顔で過ごすことが出来ました。一週間すべての活動が終了した後に感じたことがいくつかあります。その中でも特に「言葉」について改めて考えさせられるものがありました。言葉が必要ないぐらい伝えられる、伝わる思いがあるという一方で「言葉」を知ってさえいればもっと伝えることが出来たのではないかと思う場面がありました。台湾は本当にあたたかい国で現地の方も気さくに話しかけてくれる国でした。そのため震災時のお礼をしに行ったはずなのにもっと貰って帰ってきてしまったような気がします。



今回の訪問で終わりにせず今回の訪問こそが私にとって仙台と台南を結ぶ最初の一步だと思います。これからも仙台と台南の架け橋になれるように活動し、台湾で貰ったものは台湾の方々だけに止まらずに他の国の方々にも伝えていきたいと思っています。まずは身近にすぐに始められる言語の学習から頑張りたいと思います。

最後に台南市青少年訪問団に関わったすべての方にお礼を申し上げます。今回参加することが出来て幸せでした。本当にありがとうございました。



佐藤 愛

(東北学院大学)

台湾での記憶。それは今でも鮮明に蘇る。訪問団、台湾サポーターのみんな、そして現地で出逢った数多くの人達。みんなの明るくて優しい笑顔が、瞼を閉じれば蘇るようだ…。

今回の台南市青少年訪問団では、様々な場所に赴いたり、台日それぞれの文化を紹介し合ったり、自分達で考えた遊びで交流を深めたりと、様々なイベントを通じ、このプロジェクトを創り上げてきた。その中でも特に私の心に残ったものをいくつか挙げたい。

1つ目に、台日交流パーティーである。プログラムを午前と午後に分け、午前はプレゼンを中心に、そして午後はある大会などを通じ、台日お互いの交流を深め合った。特に午前に企画したプレゼンでは、内容を大きく「食」「文化」「観光」に分け、それぞれのグループが紹介したい内容をリサーチし、それをプレゼンにまとめた。それぞれが持ち味や特技を生かし、完成度の高いプレゼンをすることができたように思う。

そして初めて体験した海外ホームステイ。現地で出逢った友達に、私をととても温かく、まるで古くからの友人のように迎えてくれた。帰国してからも連絡を取り合い、また近いうちに会いに行く約束もしている。

今回学んだ経験は、私の未来に必ず生きてくと思う。私は将来、この経験を生かし、グローバルに貢献できる人間になりたい。こんな素敵な経験ができたことに、みんなに感謝でいっぱいです！ 謝謝！！



白樺 美子

(宮城教育大学)

行く前までは、今回の台南市の訪問が私の初の海外で、不安もあり、緊張していました。しかし、台南での時間は、わたしの人生にとってとても刺激的であつという間に過ぎた一週間でした。この訪問で強く感じたものは、出会った人たち、台湾の人たち、多くの人たちのあたたかさです。サポーターをはじめ、ホストファミリー、街で出会った人たちは、わたしを心から歓迎して、笑顔で迎え入れてくれました。彼らは、わたし達のことを考え、無償で親切にしてくれ、わたし達の笑顔の為にしてくれているという印象でした。伝えきれないほどのおもてなしをしていただき、感謝の気持ちでいっぱいになりました。人間として、台南で出



会った人たちの姿に感銘を受け、多くを学ぶことが出来ました。そして、学業に対しての学生の意識の高さも身をもって感じ、自分の学業に対する意識を見直すきっかけになり、とても刺激になりました。

多くを学び、たくさんのやさしさ、愛を与えてくれた台南市、そして、そのような機会を与えてくれた仙台市に感謝するとともに、必ずこの経験を生かし、両国の交流に貢献できるように努めていこうと思います。また、今回であった訪問団のみんな、台湾で出会った人たちとの出会いを大切にし、より、深めていきたいと思っています。本当に素敵な1週間をありがとうございました。

鈴木 絵理奈

(東北福祉大学)

台湾訪問を終え、私はこの訪問で様々なことを学んだ。台湾の歴史や文化、観光や現地の人との出会いなど、一週間の中に詰められた企画はたくさんあったが、私はその中でも、人の思いと繋がりやすさや大きさというものを身をもって知ることができたように思う。

この台南市青少年訪問団は、元々東日本大震災に被災した日本が、台湾の方々から暖かい支援を受けたことに端を発した企画である。感謝の気持ちを伝える訪問であり、そこから互いを深く知るために様々な企画を立ち上げていった。その訪問をきっかけに台湾や日本に留学したり、また将来に役立てるために新たな道を見つけたりする人も多く、私もまた、訪問によって視野が広まり、日本 PR イベント班のリーダーをしたことは、企画自体でも企画を行うまでの過程でも、悩みながらも最後までやり抜いたことから中でも大きな達成感があり、忘れられない貴重な経験となった。帰国してからも、団員や関わった人たちから新たな刺激を受ける日々である。一週間という短い期間ではあったが、とても密度が濃く、学びも思い出も多い訪問であったと思う。

今回で訪問団の開催は終わりと聞いて寂しく感じる。しかし、この経験は一生心に残るものだし、これからの将来に生かしていくことができる。ぜひともこれからの未来に生かし、できれば広げることができるように頑張っていきたい。



鈴木 美緒

(東北生活文化大学)

台南での一週間は、毎日が素晴らしい体験の連続でした。

その中でも特に印象に残っているのは、ホームステイと日本 PR イベントです。

ホームステイは人生初めての経験ということもあり、言葉は伝わるかな？楽しめるかな？と不安だ



らけでした。しかし、その不安はすぐにかき消されました。ホームステイメンバーが私たちのために楽しい企画を準備してくれていたからです。高雄の観光スポットや地元の若者に人気の島巡り、夜は高雄の街並みを一望できる高台美しい夜景を見たりと、たった1日の滞在でしたが、多くの魅力に触れることができました。

日本 PR イベントは浴衣の着付けで参加しました。当日は多くの方にお越しいただき、大盛況でした。着つけた後、笑顔で「謝謝！」と言ってもらえた時が嬉しかったです。日本に関心を抱いている方が大勢いるということを知ることができ嬉しかったですし、これからも日本と台湾を繋ぐ活動をしていきたいと思いました。

1週間の貴重な体験の全てを、これからの人生に活かしていきたいです。そして、大好きな台南の良さを周囲に広めていきたいです。



鈴木 里緒

(山形大学)

高雄で感じた人のあたたかさ

私のホームステイ先は、いわゆる「お金持ち」の家庭だった。大学の先生をしているホストファザー、大学1年生と高校2年生のホストシスター達、日本による統治時代に教育を受けていた関係で日本語が堪能なおばあちゃん。高雄の中心部にそびえ立つ高層マンションの上層階に住み、移動は常に車だった。

服、靴、アクセサリ。決してきらびやかではないけれど一つ一つが選び抜かれた感じがして、私の背筋はしゃんとなった。だからといって彼女たちは裕福さを鼻にかけることはない。

ショッピングモール、美術館、マーケットに海…。これでもかと至れり尽くせりだった。牛肉麺などの台湾グルメはもちろん、初の海外で少し寂しくなっていた私に讃岐うどんをふるまってくれた。家族へのお土産もいただいた。別れの日まで私は一銭も払うことはなかった。

申し訳なくなった私はつたない中国語で感謝の言葉を伝えると共に、少しのお金を差し出そうとした。すると「私たちにはいいから、帰国したら両親にお礼を言いなさい。すごく楽しかったよ。また会おう。」

そこには決して「お金」で買うことのできない人のあたたかさがあった。偽善や打算もない。

人をなかなか信じられず「この人と関わることで自分が得をするか」という基準で人を見てしまうずるい自分が顔を出すときもある。それでも常に自分自身に問いかけていきたい。彼女たちのように



「目の前にいる人に今、私は何をできるのか」と。それがめぐりめぐって誰かの笑顔になることを願いながら。

高橋 千明

(宮城学院女子大学)

台南青少年訪問団として参加した一週間は、自分の人生の中で転機となった最高の一週間であった。震災時の台南市からの支援に対する感謝の気持ちを伝えること、普段の授業では学ぶことのできない台湾の文化に触れたいという思いから参加した。

メンバーはみんな個性的で毎日笑いが絶えず、刺激が多い日々であった。ホストファミリーのジョイとWinne が時間の限られている中で高雄市を案内してくれて、沢山思い出をくれた。台湾サポーター達は、不安と緊張があるなかでも、現地の人々が何を言っているのかを日本語で通訳し、常に私達のことを考えてくれた。本当に感謝の気持ちでいっぱいだ。

この訪問団に参加し思ったことは、私達はこの活動を通して、感謝の気持ちを伝えること以上のものをいただいたことと、仙台市内で暮らしている外国人の力になりたいこと、自分の英語力を向上させたいということである。私は、このような交流は私がこの活動を通して感じたような素敵なものを生み出すものだと思ふ。東京オリンピックをはじめ、今後外国人が日本に来る機会がたくさんある。私は今回の経験を活かしてそのような機会に外国人が日本について学んだり、日本を楽しむことをサポートしたい。



徳永 航平

(東北大学)

飛行機の窓をあけると、眼下にはまるでミニチュアのような仙台市が広がっています。”It’s a small world”という言葉がまさにしっくりくる風景です。

出発は丁度一週間前でした。海外に赴くのは初めてのことで、緊張していたのを覚えています。特に大きな要因は、初日のアイスブレイクの役割を兼ねる学生交流会でした。私は、その企画チームに所属し、半年以上前から準備を進めてきていました。

台南に着いてからの一週間は、緊張とは裏腹に電光石火のごとく過ぎ去って行きました。学生交流会では、かるた大会のときに読み札を紛失してしまうという事故に見舞わ





れました。かるたの読み札をあらかじめ暗記していたため、事なきを得ましたが、あらためて危機管理の重要性を認識しました。その後も、台南市を巡ったり、お茶の文化を体験したりと、学び多い一週間でした。

今回の訪問で、今の日本があるのは、多くの国の人々に支えられたおかげであることを再認識しました。「世界」にさらに興味がわき、国際人としての一步を踏み出したかのように思えます。大切な仲間も得ました。今回の経験を、これからの人生にどう生かすか、考えていきたいと思います。

土佐 克也

(宮城教育大学)

「たいわんあったかいんだから」

「第8期台南市青少年訪問団」として過ごした一週間は、本当に充実したものだった。感じたこと、考えたことがたくさんあるが、その中でも特に強く印象に残っているのは、台湾の方々の優しさ、あたたかさである。私達を支えてくれたサポーター、ジェイソン、グレイスはもちろん、お店のおじさん、道行く人々みんなが私達を優しく見守ってくれていた。私達の活動、思い出の一つ一つにはいつも彼らの優しさがあった。そのよう



な姿、思いに触れて、とてもうれしく思うと同時に、人と人の関わりというのは本来こうあるべきなのだと感じた。互いが互いを受け入れ、思いやることで心の通った関わりができる、そしてこれは国籍、文化、言語が異なる人との関わりにおいても同じく大切なことだと学んだ。

このような貴重な経験をさせてくれた優しくあたたかい台湾のことが大好きになったし、震災での支援含め、台湾への感謝の思いがさらに募った。その感謝の気持ちを、台湾の素晴らしさや台湾で感じたこと、学んだことを周囲の人達に伝えていくことで還元していきたい。この経験を「思い出」として終わらせるのではなく、「スタート」として、これからも大好きな台湾と日本の交流の一助となれるように努力していきたい。

内藤 詩音

(東北法律専門学校仙台校)

私は震災を機に台湾に強い関心を持ち、その後「台湾人生」という映画を見たことで、実際に台湾に足を運び歴史や文化を学びたいと思うようになりました。このように思っていた中で、「台南市青少年訪問団」に参加できたことは本当に幸運でした。

活動においては、一週間という短い期間ではあったものの、とても濃密かつ充実した時間を過ごすことがで



き、東日本大震災に関しての感謝の気持ちを伝えるだけでなく、多くの交流を通じ、台湾そして台南の歴史と文化を学ぶことができました。その中で、ホームステイや先住民との交流など貴重な体験をすることができ良かったです。また、仙台PRブースにおいては、東日本大震災の報告を担当し、会場に訪れた多くの方々に、仙台のこと、震災のこと、そして感謝の気持ちを伝えることができたと思っています。

台湾の方は皆優しく友好的で、その優しさに甘えていた部分もありましたが、この一週間の経験は人生最高のものであり、自分自身の成長に繋がったことは言うまでもありません。交流はここからがスタートです。私たちが出来ることは仙台・台南間での交流の促進であり、今回の繋がりを大切にし、さらに深いものにすべく交流を継続していきたいと思っています。

中村 玲奈

(東北福祉大学)

今回の台南訪問では、文化や言葉の違いを越えた、人と人との交流ができたと感じています。台南のサポーターをはじめ、ホームステイ先や原住民の村でも多くの台湾の方々と同じ時間を過ごし、たくさんの感動を共有しました。最初は慣れない海外に、上手くコミュニケーションを取ることができるか、不安もありました。しかし、おいしい物を食べて一緒に笑い、お互いの文化について話したりするうちに、台湾の方々をととても身近に感じるようになりました。国は違えど、考えることや感じることは同じで、お互いの国に興味を持って歩み寄ろうという気持ちが大切だと感じました。



また、今回の台南訪問は、震災の時の支援に対して、感謝の気持ちを伝えるという目的でした。しかし、台湾の方々の温かいおもてなしや親切に、さらに感謝が深まるばかりでした。今後日本で自分に何ができるかを考えた時に、この親切の輪を広げていくことだと考えました。台湾の方々はもちろんですが、日本に来た海外の方に対して、おもてなしの心を持ち、親切に接するということを大切にしていきたいと考えています。

今後は自ら積極的に海外の方々と交流する機会を見つけて、動いていきたいと考えます。とても素敵な仲間たちと、台南訪問という貴重な経験ができたことをとても嬉しく感じます。今後もこの縁を大切にしていきたいですね！

舟山 優也

(東北工業大学)

私は今回の台南市青少年訪問団に参加して心の底からよかったと思っている。台湾に着くまでは楽しい気持ちもあった反面、正直不安な気持ちもあった。初めての海外というのもありやって



いけるかどうかというものだった。しかしいざ着いてみると1週間があつという間で帰るころには別れが惜しくなるほどだった。それほど濃い1週間を過ごすことができた。

具体的に何が良かったかと聞かれると全て良かったという答えになってしまう。大袈裟に言うのではなく、本当に心の底から全てが新鮮で全てが楽しかった。台湾の伝統的なお茶体験や夜市、ホームステイといった他では体験できないようなことをしていつもドキドキしていた。また自分達で考えた交流は大成功と言えるくらい良いものだった。この瞬間のために時間を作って集まって頑張ってきたのだと思った。

このような素晴らしい機会は人生の中でそうそうあるものではない。私はこの体験を自分の中で留めておくのではなく、周りに発信したいと思っている。そして自分自身もっと言語力が必要だと身にしみたので勉強しようと思う。本当に最高の訪問団だと胸を張って言える素晴らしい企画に関わった皆さんにとっても感謝しています。



古舘 愛美

(東北学院大学)

謝謝、台南！

私は、どうしても台南市青少年訪問団に参加したいと考えていました。何故なら、震災時にすぐに駆けつけてくれた台南市長や台南の人々からの支援は、私に多くの勇気と感動を与えてくれたからです。私はどうしても直接自分の口で感謝を伝えたいと思っていました。

台南はとてもいいところでした。ご飯はとっても美味しい！そして、人と人の距離がとても近くて、温かくて。私は居心地の良さを感じました。これらは台南の魅力です。台南では地元の人々に浴衣を着付けするという、ただの旅行ではできないような経験をしました。ありがとうや綺麗などの簡単な単語しか言えませんでした。感謝の心を込めて着付けをしました。台南の人々の嬉しそうな顔は今でも忘れることができません。

私たちは感謝を伝えるに行くという目的で台南に行きました。しかし仙台に帰ってきたからといって、それが終わったわけではありません！私はこれからもずっと、台南に感謝と友好の気持ちを伝え続けたいと思います。そして、訪問団で経験したことを忘れずに、ただの思い出にしないよう活かしていきたいと思います！訪問団に関わる全ての皆さん、本当にありがとうございました！



堀江 猛

(団長/東北学院大学)

まずはじめに今回、訪問団受け入れにあたりご尽力頂いた公益財団法人仙台観光国際協会、奇美グループや財団法人樹谷文化基金会、仙台市、台南市、仙・台友好交流促進協会の方々、現地でお世話頂いた学生ボランティアの皆さん、そして私たちを温かく迎えてくれた台南市民の方々など第8回台南青少年訪問団の活動に関わった全ての方々に心から感謝申し上げます。

現地の方々との様々な交流、施設見学、伝統文化体験、台湾先住民生活体験、ホームステイなどを通して、台南の文化や自然に触れ、台南の方々の温かい愛を受け取り、これからの復興を担う者としての大きな糧となりました。また、日本文化の紹介などを通して、異文化を肌で感じ、有意義な経験となりました。

震災後にいただいた支援への感謝や、現在の仙台の状況、さらに私たち学生を含む仙台の元気を自分なりに伝えることができたと思います。

多くの出会いと別れ、本当にとっても充実した8日間でした。しかし一度の訪問だけで終わりではありません。この体験を通して学んだことや感じたことを一人でも多くの方々に伝えていきたいと思えます。そして現地のサポーター達との絆を今後も大切に、交流を続けていきたいです。



丸山 佳晃

(東北大学)

みなさんこんにちは！みんなの優しいお兄さんの丸山です。今は仙台から引っ越しを終えて、札幌の新しい部屋でこのレポートを作成しています。

台湾訪問楽しかったね！ここにはとても書ききれないほどの、様々な経験をして、思い出をつくり、いろんなものを得ることができました。

何より、僕にとっての一番は、一緒に活動してくれた30人の学生みんなに出会えたことです。台湾での8日間はもちろん、事前準備の期間や一緒に飲んだときなど、みんなと一緒に過ごした時間は何をしていたても本当に楽しくて、充実していて、最高の時間でした。

だからここでは、台南メンバーのみんなに感謝の気持ちを伝えます。学生生活最後にして、最高の思い出をありがとう！！因みに事後研修や打ち上げの後、大抵の人には素っ気ないお別れをしたけど、それはみんなに会えなくなると思うと悲しくて必死に涙をこらえていたからです笑

本当は、もっと多くの時間をみんなと共に過ごしたかった。そう思うからこそ、社会人になってから





も色々な人との出会いを大切にしていきます。そして今度会うときは、もっと「すごいお兄さん」になってみんなを驚かせます笑

それではお元気で！また仙台で会おう！

三浦 靖世

(東北学院大学)

第8回台南市青少年訪問団は2月26日から8日間の日程で行われ、私にたくさんを感じさせてくれた。台南の方々の優しさに触れた時間や、団員の皆と過ごした時間は私の一生の思い出になった。また台南で味わったたくさんのおいしい料理や、初めて見る景色はどれも新鮮で毎日がとても充実していた。

台南に出発する前は自分が担当した仙台PRでの書道ブースを成功させることができるのだろうかという不安でいっぱいだったが、団員や台南の学生ボランティアなど、たくさんの方々の協力のおかげで大きなトラ



ブルなく終えることができ、何よりも参加してくれた台南の方々が私たちに笑顔で接してくれたのが嬉しかった。言葉は通じなくてもお互いの思いが少しは通じているのかと思うと、この訪問団に参加して良かったと心から思えた。

でも一つだけ心残りなのは、台南の方々に震災の時のお礼がしっかりできたのかということ。本来ならそれが第一の目的であったはずなのに、途中そのことが薄れてしまったのではないかと後悔している。いつも私たちが台南の方与えてもらうばかりで私たちは何かできたのかなと、帰国後も心残りである。だからこそ私は2年生になっても中国語を必死で勉強すると心に決め、いつか自分の言葉で感謝の思いを伝えられるようになったら、台湾にまた訪れたいと思っている。私はこの訪問団で一生の友人と思い出ができ、経験したことをこれからに繋げていきたいと心から思える最高の1週間だったと思う。

都澤 和可

(東北学院大学)

「人のあたたかさ」台南市青少年訪問団で得た1番の経験です。台南や台湾の人々は本当にあたたかい方ばかりでした。道を歩いていても、日本語で話しかけてくれたり、ステイ先の女の子はわからないことがあるとすぐまわりの人に聞いていて、それに答える人も当たり前笑顔で答えてあげていて、人の繋がりを大切にする国なのだなと、日本にはもうあまりなくなってしまった、ほっこりとするような、あたたかい雰囲気を感じました。



震災の支援に対して感謝の気持ちを伝えにいったはずなのに、良くしていただくばかりで、自分が伝えなかった気持ちがちゃんと伝えることができたか、わかりません。しかし、帰国した私にできることは、台南という素晴らしい場所があるということ、そしてその都市が仙台をとっても想ってくれているということ、自分のまわりの人々に伝えていくことだとおもいます。私が話して行くことで、誰かに伝わり、それがまた台南と仙台がつながるきっかけになってくれれば、とおもいます。この繋がりはずっと大切にします。謝謝台南。ありがとう台南。

横澤 優美

(宮城教育大学)

生まれてはじめて

以前に訪問団に参加した先輩から勧められてはじめて知った台南市青少年訪問団。団員の一人としてこのような素晴らしいプロジェクトに参加することができて光栄に思います。私にとって台湾での一週間は生まれてはじめての経験ばかりでした。はじめての海外で不安と楽しさでいっぱいの中、出迎えてくれたのはこの日のために準備をしてきてくれたサポーターのみんなでした。そして台湾の空気、街の雰囲気、食べ物、すべてがはじめてで、一週間はあっという間に過ぎ、気がつけば台湾のことが大好きになっていました。



ホームステイでバイクにのり様々な景色をみたこと、原住民の村で子どもたちとふれあったこと、準備をしてきた仙台 PR ブースが成功したこと、すべてが充実していました。これを楽しかった思い出に留めるのではなく、台湾で学んだこと感じたことを仙台や周りの人に発信していきたいと思います。台南市青少年訪問団で私自身の考え方や物事に取り組む姿勢は大きく変わりました。これからも今回の出会いを大切に、台湾の人々への感謝の気持ちを忘れずに必ず何らかの形で恩返ししていきたいです。改めてサポーター、訪問団、台湾のみなさんに謝謝！

吉田 夏海

(東北学院大学)

不安と期待を胸に出発し、台南で過ごした一週間。この一週間は言葉には表せないほど最高なものだった。

台南では日本にいる時より「人と人との繋がり」を感じる機会が多くあった。サポーターから屋台のおじちゃんまで、本当に沢山の人の出会いがあった。皆共通して、気さくで親切、よく笑う。また、初対面の人にも壁を作らず積極的に接する。そのおかげもあり、言葉の壁があるにも関わらず、初対面の日本の方と仲良くなるよりも早く心を通わせられた。これこそが個人レベルでの国際交流の第一歩だと





感じた。

現代、台湾は街を歩いているだけでも実感できる程の親日国だ。それは先人八田さんなどが偉業を成し遂げたのと同時に、現地の人としっかり心の繋がりを構築したからだ。大切な人が居る国には興味がわくし、困っている時手を差し伸べたくなる。今回の研修で、一人でも私をきっかけに日本に少しでも興味を持ってくれた人がいたら嬉しいな…と思う。

他にも、言語や歴史を学ぶことの大切さ、子供の可愛さ、ホームステイについて、311 について、等々書きたいことは山程ありますが…最後にこのような素晴らしく、貴重な機会を設けて下さった皆さんに感謝申し上げます。8 期の皆もありがとう。そしてこれからも宜しくね。謝謝！

吉野 佳歩

(副団長/宮城教育大学)

台湾と日本の架け橋

私が今回「台南市青少年訪問団」に参加して感じた事は、「人との繋がりの強さ」である。

この訪問の目的は、東日本大震災の際に多大なる支援をいただいたことに対して、感謝の気持ちを台湾・台南の方々に伝える事だった。しかし実際には、私たちの方が台南の方々の優しさや気持ちをもらってばかりだったような気がする。それほど、台南の方々は私たち日本人に対してとても親切にしてくれた。日本の事をよく知ってくれている事、日本を好きでいてくれる事がとても嬉しかった。原住民の子どもたちは、言葉が通じないけれど笑顔で抱きついてきてくれた。日本の歌を、日本語で歌ってくれた人もいた。東日本大震災が起きた時に、本気で心配してくれた人もいた。この訪問では、日本と台南が友好的な関係を築いている事、強い絆で結ばれている事を実感することができた。

そして何よりもグレイス、ジェイソン、現地サポーター達、訪問団のみんなには感謝してもしきれない。正直、たった 1 週間でここまで強いつながりを感じることができるとは思わなかった。それほど、中身の濃い充実した時間を共有してきたのだと思う。ここでできた繋がりはこれから先もずっと続いていくものと信じているし、私たちが台湾・台南と日本の架け橋となってさらに交流を発展させていきたいと感じた。

これからも感謝の気持ちを忘れずに。この一週間は本当に刺激的で素敵な時間だった。ありがとうございました!!我愛台南!!送愛到台湾!!



台南市青少年訪問団 報告書



各チーム報告&メッセージリレー

各チームの報告

おっかれまでしたm(-_-)m

☆ お別れ交流会チーム (1ほりえもんさん、ももへさん、かなっしー、ななちゃんさん、よしーさん、ごもさん)

> 笑いあり、涙ありの素晴らしい お別れ交流会を企画してくれました！
みんなまで練習したすずめ踊りや、世界に1つだけの花(中国語ver)も大成功でしたっ！
70033.09-01見た動画も感動でした♡ 涙が止まらない ~~~ あああああ

大変だったこと

すずめ踊り
経験者1人という状況で、初心者から初級者に教えるのが大変だった。台南へ行く前に2回、現地で2回、計4回という練習回数。

楽しかったこと

お別れ交流会の全て... 準備から本番まで全部が楽しかった。笑いあり、涙ありの交流会をつくりあげることができた！
みんなが生々しい姿も見ることができた。

嬉しかったこと

少ない練習の甲斐のすずめ踊りが最後に完成できた。
今まで以上にみんなが1人1人、最高のものをフツッあげることができた。

自由記述欄

みんなにと、心に残る交流会になったのでとても幸いです。ご協力ありがとうございました。最高の交流会になりました。

☆ 学生交流会チーム (丸さん、徳さん、あいさん、あやめさん、明日香ちゃん、池さん、としさん)

> 1番最初の交流会では、みんなと仲良になれるような楽しい企画を用意してくれました。カルタはとっても手が込んであり、台南サポーターも楽しそうでした。熊田さんのサプライズも大成功でした♡ 改め、結婚おめでとうございませう！

大変だったこと

・カルタ作り
・当日のかるた大会で読み合わせがなかったこと
(徳さんが頑張ってくれた！)
・アクシデントへの対応

楽しかったこと

・準備自体が楽しかったこと
・みんなが集まった時にUNOもしたり、ご飯に行ったりするのが楽しかった。
・カルタ作り

嬉しかったこと

・交流会が盛り上がったこと
・仙合が楽しかったこと
・熊田さんへのサプライズが成功したこと
・爆弾ゲームで池ちゃんの音楽ストップのタイミングが神がかったこと

自由記述欄

準備期間の遊びのやりはじの時刻にも負けず。
・松島楽しかった！
・みんなで1つ1つとやりながら達成感もとても気持ち良かったです！
台南のみんなに感謝！

☆ 小学校ボランティアチーム (秋山さん、まいさん、こやがさん、ゆめさん、水一なさん、みこみこさん)

> 妖怪ウォッチと七夕飾り作りを行いましたっ！☆ 子供も7人も大喜びでした。きなこ棒は不評でしたが、うまい棒は人気でしたわ！

大変だったこと

・時間が短かったこと
・小中は音楽を通じた活動で、事前の準備の時に連絡が上手に取れなくて不安な部分も多かったこと

楽しかったこと

・子供が可愛かったこと
・言葉は通じなかったが、「嬉しい」など簡単な言葉は伝わった。

嬉しかったこと

・皆が楽しめた様子が伝わった時に嬉しかったこと。
・お茶やお菓子を持ってきてくれたこと。

自由記述欄

持っていったお菓子で「きなこ棒」が不評だった。

Ready, Go!!!

START !!

王惟竟也

土曜日は、二時に会場へ入り、
 演劇の準備が、1時30分には始まる。
 会場には、既に、主賓の来賓が着込んで
 土曜日は、とて静かで、さう
 かな、いい花束に、お花が飾り、
 1つが野郎が、お花をさす。①
 夢に、何かに、お花が、さす。②

三浦 晴世氏

伍陸

愛さんの文才類、優しい雰囲気
にいい味いやされていました！
台本ではお話しがなかなた
ですが、これからは何をい
して下さい！これからもう
僕先さんとお幸せに！！
土曜日は

仲良し♡

お母さん、
た〜くさん話せてすこ
く楽しかったよ〜
これからモンスターな
笑顔のばあばでい
いてね。 佐藤龍利

石竹屬

お笑い
たくさん話せてすごく
楽しかったよん
これからもステキな
笑顔でがんばって
いてね
ママ

利美早記

[illegible]

吉野子 (1928)

佐藤さんは何かに
お姉さんのような人でした。
いつも声をかけてくれる
友には出しませんでした。
とまじりかたでした。
こまじりかたにまじりかた
がたがた

Figure 1

Oil King: 11470
 和の)と地帯一帯をエース
 大富人に集めて、大富(大)
 人に任じた。と神助の存在が
 清いと思いきよ、(大)と大
 合い、大(大)大(大)大(大)
 大(大)大(大)大(大)大(大)

今年不買衣服

ぽうしがスナキ
 いっぽり似合っ
 るなーって思っ
 ました。(^^)

2004-2005

船でちん米の人を
すい、食が葉はよ僕人いも
明るくて月を盛り上げて
くれておかげでまた
集まろうね～ 4/11 木曜日

2002

[illegible]

四川理邦

吉野利生 敬啟

白粉花

お二さんのかわいさ
明なおいお二さん夫婦に
この間仙台を歩きました
お二さんがお話を
お聞きしたいです
石

2004 4/24

[illegible]

Page 4 of 4

7月29日
 団長おつかれさま
 面談一箱に感謝
 一箱に感謝
 5月21日

黃海(原美)

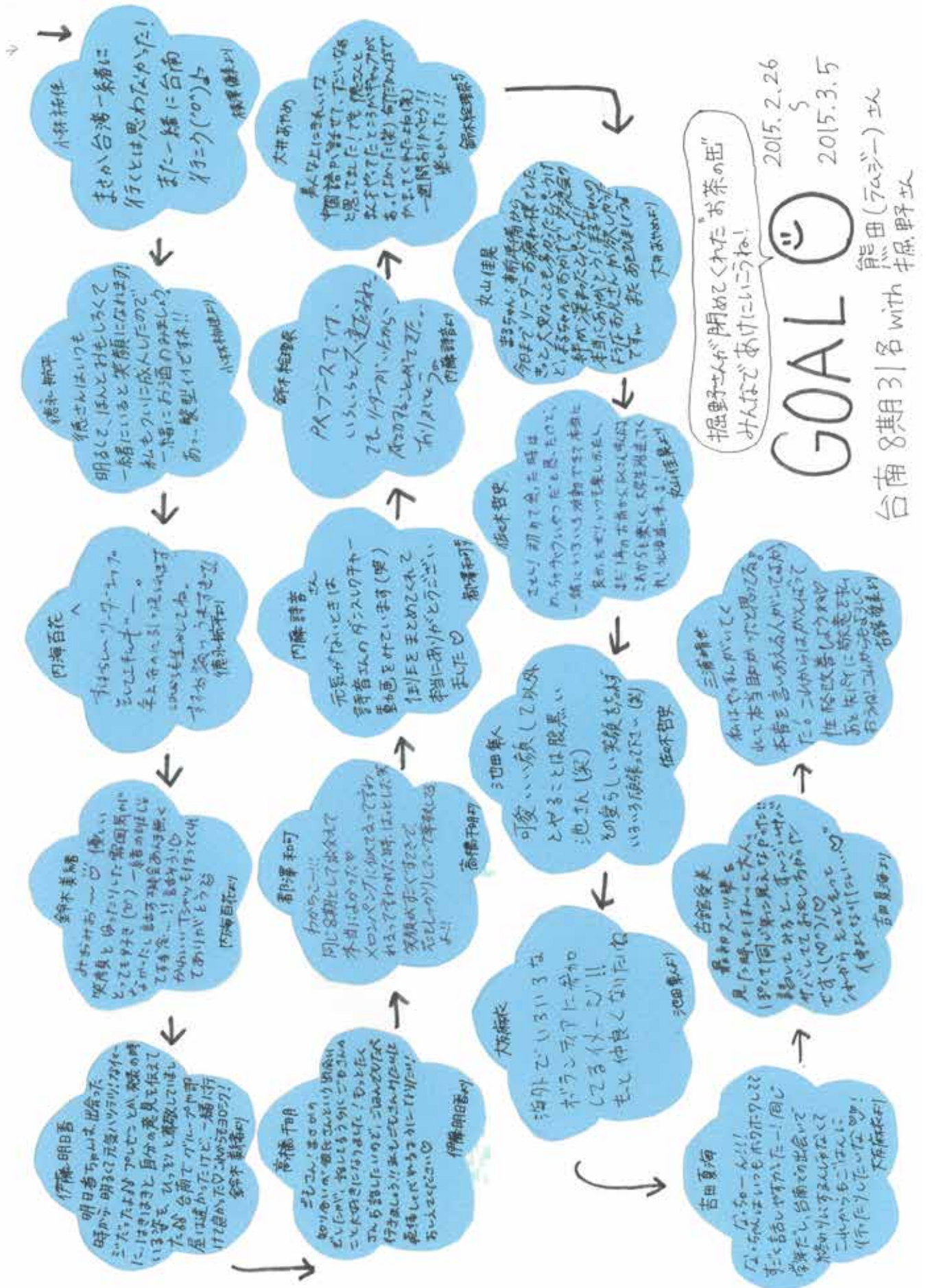
PRの日本の近きハッシュ
の案にとっても頼りに
なすびん！
オレがとら!!

以爲事之成敗

can be

2018

14. 新書



同行者より

震災の時に頂いた支援への感謝の気持ちを伝えようと張り切って準備をしますが、いざ訪問すると、その何倍もの歓迎を受けます。今回も、奇美のスタッフやサポーターが入念に準備してくださったおかげで、大変有意義な時間を過ごすことができました。本当に毎回感謝の気持ちでいっぱいです。

今回のビッグイベントでもある、日本文化 PR の際は、学生たちが自ら考え行動し、サポーターや手伝いに来ていただいた学生の方々と協力し合い、無事終わることができました。その時の彼らの表情はそれまでも増して輝いていたように見えました。彼らの笑顔は来場者の方を笑顔にしていました。今までにも何度か開催しているイベントではありましたが、今回も来場者の方に感謝の気持ちを伝えることができたのではないかと思います。もしかすると震災に対する意識が年々薄れてきているかもしれませんが、台南市と仙台市の交流に欠かすことのできない人と人との深い繋がり、財産ができたのではないかと思います。

台南市訪問から 1 年近くが経った今、訪問団やサポーターの現況を時々耳にすることがあります。台南市訪問後に進む道は様々で、台湾への留学を決意したり国際関係のサークルに入ったりする者もいれば、普段通りの日々を過ごしている者もいます。後者が決して悪いというわけではなく、彼らの心の中にも台南で過ごした思い出があり、時にそれが何かに対する情熱となるかもしれません。それ程、台南で過ごした日々はとても刺激的でした。それは彼らにとって一生の宝物となり、今後の人生の原動力ともなったと思います。それが今後の台南市と仙台市の交流に一役かってくれれば何よりです。

今回の訪問団に関わった全ての方に感謝の気持ちを申し上げるとともに、これからの台南市と仙台市の交流がいつまでも続くよう、心から祈っております。謝謝!!

ラムジー 夏希 （旧姓：熊田）（元仙台国際交流協会）

1 人 1 人が心の中に熱い思いを持って、台湾に向かった訪問団の学生たち。1 週間の旅で多くの人に会い、たくさんものを見て、みんな何かを得ようと一生懸命でした。そんな学生たちの気持ちを、同年代の現地サポーターたちがしっかりと受けてとめてくれて、今回の訪問も大変意義あるものになりました。

1 週間の旅は、これからずっと続いていく友情の始まりです。今回仙台と台南で生まれたつながりは、帰国後も絶えることなく、広く大きくなっています。そして、台湾訪問で得た経験や自信を元に、新たなことに挑戦していくメンバーもいます。

学生たちはこれから社会に出ていきます。今回生まれた友情が、台南と仙台、台湾と日本の社会に新たなものをもたらすことを期待しています。

堀野 正浩（仙台国際交流協会）



送愛到仙台

第8回台南市青少年訪問団 報告書

編集・発行 公益財団法人 仙台観光国際協会 (旧：仙台国際交流協会)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10

仙台青葉ウイングビルA棟11階

TEL: 022-268-6260 FAX: 022-268-6252

E-mail: plan@sentic-sendai.jp HP: <http://www.sentic-sendai.jp>